



5月12日 JTSU-E 大地申第5号

「上野東京ライン・湘南新宿ライン乗務員基地再編 について」に関する説明申し入れ交渉開催！【その1】

2023年度上期に「小金井運輸区（仮称）」の設置が予定されています。基地再編成について、会社の考え方を明らかにするため団体交渉を開催しました。

1. 上野東京ライン・湘南新宿ラインの乗務員基地再編の目的を明らかにするとともに安全・安定輸送のさらなるレベルアップをどのように図るのか考え方を示すこと。また効率的な業務執行体制の実現を図るとはどのようなことを意味するのか明確にすること。

(回答) 運輸区体制とすることで、安全・安定輸送のさらなるレベルアップを図るとともに、効率的な業務執行体制の実現を目的とする。

団体交渉のやりとり

組 合

- ◆ 提案時から効率性の向上を謳っているが会社の具体的な考え方を示すこと。
- ◆ 工事は計画通りなのか。
- ◆ ジョブローテーション施策で指導の要、安全の要が異動している。会社として、安全のエキスパート育成をどのように考えているのか。
- ◆ それは異動することを前提に、ということですか？
- ◆ 小金井運輸区に車掌を移管するメリットは何か。
- ◆ 小金井での乗務員交代も増えるのか。
- ◆ 運輸区が出来ると、そこで働く社員も増えるが、運輸区周辺には食事する箇所が無い。そこに対する会社の問題意識を持っているのか。

会 社

- 目的としては、①安全のレベルアップ ②業務執行体制の実現 ③職場の活性化。
- 工事は順調である。
- エキスパートという言葉があっているか分からないが、現場指導担当と連携していく。支社として取り組んでいる事は、訓練内容を各区統一して、教育内容の平準化をすすめている。
- そういう意味ではなく、教育漏れを無くすため。
- 車掌が配置していなかったため、乗務員運用に柔軟性がなかった。今後運輸区となることで、お客さまの利便性も向上し、欠点が補えることになる。
- 増えることが想定される。
- 問題意識はある。現在オフィスキオスクには、冷凍食品も陳列している。今後も改善していく考えである。

確認事項

- ・ 基地再編の目的は、①安全のレベルアップ ②業務執行体制の実現 ③職場の活性化 であり、支社と現場指導担当者、管理者が一体となって安全のエキスパートをつくっていく。
- ・ 工事のスケジュールは順調で、概ね夏頃から目に見えた工事が始まる。
- ・ この運輸区が出来ること、今まで車掌が配置していなかったため、乗務員運用に柔軟性がなかった。運輸区になることで、お客さまの利便性も向上し、欠点が補える。
- ・ 食事情については、オフィスキオスクに冷凍食品も陳列しているが、今後も改善していく。

その2へ続く